

E117		浄土教史概説	
英名科目名	Survey of the History of Pure Land Buddhism		
大学名	大谷大学		
連絡先	教務課 TEL 075-411-8117 FAX 075-411-8150		
担当教員	藤原 正寿		
開講期間	2021年09月24日(金)～2022年01月28日(金) 4講時 14時40分～16時10分(毎週金曜日) 休講 2021/11/12(金)、12/24(金)、12/31(金) 2022/01/28(金)は、試験日の為、京カレッジ生は出席不要です。		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	
単位数	2	履修年次	2～4学年
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	120		
単位互換生定員	10	京カレッジ生定員	10
試験・評価方法	平常点30%(授業の出席と、授業時に提示した課題の提出)・定期試験70%(授業時に示した題目に記述形式の筆記試験を課す。板書だけで無く、講義の内容も筆記することを求める。) テキスト忘れや、レポートの未提出は、厳しく評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	聴講料 15,000円		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	<p>【質問・相談の方法】 授業終了後、またはオフィスアワーに対応する。</p> <p>【担当者からの連絡】 授業時に示す。</p> <p>本学では、対面授業を想定して開講いたしますが、今後の新型コロナウイルス感染状況次第では、実施方法やスケジュールに変更があることをご了解ください。変更等については、e京都(いーこと)ラーニングシステムを通じて掲示・連絡いたします。</p>		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標	<p>【授業テーマ】 浄土教の形成過程 親鸞の仏教史観を通して</p> <p>【授業概要】 今に伝わっている浄土真宗の教えは、2500年もの長い歴史を経て現在の形となった。この授業において、親鸞までの浄土教がどのように発展・展開したかということについて尋ねる。浄土三部経の教えが、龍樹をはじめとする七高僧によってどのように理解されてきたのかを『正信偈』の「依釈段」を通して概観していく。</p> <p>【学習到達目標】 親鸞が浄土教の歴史をどのように捉えたかを知る。親鸞の『正信偈』の言葉に示されている視点を通して、仏教がインド・中国・日本へと伝わる過程において、浄土真宗の教えがどのように明らかにされてきたかを理解することができる。</p>		
講義スケジュール	<p>【学習内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「浄土教」とは何か 2. 浄土三部経概説(1)『無量寿経』 3. 浄土三部経概説(2)『観無量寿経』と『阿弥陀経』 4. 七高僧総論 5. 龍樹菩薩(1)『十住毘婆沙論』と易行道 6. 龍樹菩薩(2)『十住毘婆沙論』における不退転と称名 7. 天親菩薩『浄土論』と本願力回向 8. 曇鸞大師(1)菩提流支との出遇い 9. 曇鸞大師(2)『浄土論註』における他力と信心 		

10. 道綽禪師 聖道門と浄土門・諸行と称名
11. 善導大師(1)『観経疏』における古今楷定
12. 善導大師(2)金剛心獲得とその結果
13. 源信和尚 報土と大悲
14. 源空上人(1)法然の功績
15. 源空上人(2)涅槃の因としての信心
16. レポート

【授業方法】 授業方法は、全回に亘り、「講義形式」で行う。板書内容のみならず、講義内容もノートに書き留めるように。

【準備学習(予習・復習)・時間】

第1～14回：授業終了後にノートを整理し、講義の不明な点について質問を準備すること。次回の授業で取り上げる文章に目を通して知らない単語を仏教辞典または漢和辞典で引くこと。40分
第15回：授業終了後にノートを整理し、講義の不明な点について質問を準備すること。授業時に示したレポート題目に回答するレポートを作成すること。40分

教科書	『真宗聖典』(東本願寺出版部) 『真宗聖教全書』第一巻(大八木興文堂) 適宜、プリントを配布する。
-----	---

参考書	授業時に紹介する。
-----	-----------